



 玉井商船

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 展雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 清崎 哲也 (TEL) 03-5439-0260
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,429	△24.8	343	△70.5	442	△65.0	311	△64.6
2023年3月期第2四半期	4,561	46.8	1,165	53.2	1,263	64.7	880	40.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 416百万円(△49.8%) 2023年3月期第2四半期 829百万円(22.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	161.31	—
2023年3月期第2四半期	456.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,159	6,893	60.3
2023年3月期	11,050	6,632	58.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,729百万円 2023年3月期 6,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,700	△8.3	1,070	△18.7	1,060	△10.5	760	△7.3	393.72	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,932,000株	2023年3月期	1,932,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,726株	2023年3月期	1,678株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,930,318株	2023年3月期2Q	1,930,367株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は未だ新型コロナウイルスによる影響を受けた世界的な経済危機から、通常の状態への回復途上にあるものと考えられますが、引き続き中国のゼロコロナ政策転換後の景気回復の戻りが欧米各国の中国に対するデリスキング（サプライチェーンの見直し）、中国国内の不動産問題の拡大等により遅れ、更にはロシアのウクライナ戦争の長期化等による地政学的リスクが加わりドライバルク船市況の今期前半は停滞しておりましたが、後半は中国政府の経済振興策に伴う原材料輸入の増加等により改善しつつあります。

一方で、米国景気の個人消費は堅調な一方、金利上昇により住宅投資等は減速傾向ではありますが、全般的には良好に推移しました。今後も金融環境の引き締まりが景気を下押しする見込みですが、良好な雇用環境や実質賃金の上昇が個人消費の増加を下支えする見込みです。EU圏と英国ではロシアのウクライナ侵攻による戦争が大きく影響し、高インフレ圧力が根強く、中央銀行による金融引き締め継続が景気の低迷を長期化する見込みです。日本経済も資源高と円安に基づくインフレ傾向にありますが、金融緩和の姿勢は継続しつつ、企業収益の好調、更にはインバウンド需要の増加等により、当面はリバウンド需要がけん引する形で良好な状態が継続する見込みです。新興国経済について、インドでは良好な状態が継続し、その他の国に関しても中国経済を筆頭に徐々に回復する見込みですが、インフレの高止まりや米国と中国の対立激化に関わるサプライチェーンの見直し、変更、トレードパターンの変化、更には地政学的リスクの拡大、長期化などの全般的な経済の動向に注意してまいります。

このような世界経済情勢の下、外航ドライバルク船市況はインフレ及び高金利による世界景気の停滞の中での中国経済の回復、パナマ運河の滞船、南米積シブメントの増加、更には環境規制の厳格化に伴う減速航海の増加等によりマーケットは改善方向にあると思われ、今後も前述の季節的な貿易量の増加、中国経済の回復、船舶環境規制の深化等による回復基調が継続し、世界経済の景気好転に伴う貿易量の増加が期待されます。一方で世界的な金融引き締めに伴う経済成長鈍化、更には地政学的リスクの長期化、悪化等によっては、マーケットに悪影響を及ぼす恐れもあり、今後も様々なリスクに対応することが必要とされています。

以上のような状況下、この四半期も安全と顧客へのサービスを第一に、市況リスク並びに運航リスク、更には環境負荷の軽減に全社で努力を傾注すると共に、太平洋と大西洋を結ぶトランスオーシャン輸送に当社の支配船舶を可能な限り重点的に配船し、安全且つ経済的、効率的な輸送に勤め、短期の定期用船も含めた新規契約の獲得に鋭意努力し、将来を見据えた事業展開を図りました。

この結果、営業収益は3,429百万円（対前第2四半期連結累計期間比△1,131百万円、24.8%減）、営業利益は343百万円（同△821百万円、70.5%減）、経常利益は442百万円（同△821百万円、65.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は311百万円（同△569百万円、64.6%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による北米からの穀物輸送や南米からの水酸化アルミ輸送、海外向けのスラグ輸送を行い、運航採算の向上に努めるとともに、一部支配船舶の短期貸船により安定収益の確保を図りました。

円安による影響がありましたが、本船動静上の制約から航海数が大幅に減少し、営業収益は2,895百万円（対前第2四半期連結累計期間比△1,132百万円、28.1%減）となりました。一方、営業費用面では、貸船により運航費が減少したものの外部用船による借船料が増加しました。営業利益は、航海数減少による収益減の影響を受け、536百万円の営業利益（同△821百万円、60.5%減）となりました。

・内航海運業

定期用船1隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船2隻に加え他社船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。また船員を他社へ融通し派遣業収入を得ました。

営業収益は、輸送量の増加と貸船料の値上げにより増収となり、489百万円（対前第2四半期連結累計期間比11百万円、2.3%増）となりました。営業利益面では、船員費増加により営業費用が増加し、49百万円の営業利益（同△1.1百万円、2.4%減）となりました。

・不動産賃貸業

不動産賃貸業においては、主要物件について現契約を変動契約に変更しました。この影響により、営業収益は、43百万円(対前第2四半期連結累計期間比△10百万円、19.9%減)、営業利益は、2百万円(同△14百万円、86.7%減)となりました。

(注) 営業利益は配賦不能営業費用(243百万円)控除前のものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ108百万円増加し、11,159百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現預金の増加などに366百万円増加し、固定資産が主に減価償却により258百万円減少したことによるものです。負債は4,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円の減少となりました。これは、流動負債が主に契約負債の減少などにより78百万円減少し、固定負債が長期借入金の減少などで73百万円減少したことによるものです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益311百万円、剰余金の配当154百万円などにより株主資本の増加156百万円、その他有価証券評価差額金の増加によるその他の包括利益累計額合計の増加98百万円などにより、前連結会計年度末に比べ260百万円増加し、6,893百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、営業活動の結果得られた資金649百万円、投資活動の結果使用した資金5百万円、財務活動の結果使用した資金358百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ367百万円増加し、1,898百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、649百万円(前第2四半期連結累計期間比341百万円の収入減)です。これは、税金等調整前四半期純利益442百万円が計上されているうえに、減価償却費420百万円などの非資金費用の調整などがあり、その他の資産の減少額212百万円などの増加項目に、売上債権及び契約資産の増加額142百万円、法人税等の支払額96百万円を加減した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、5百万円(同7百万円の支出減)です。これは、主に有形固定資産の取得による支出7百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、358百万円(同1,019百万円の支出減)です。これは、主に長期借入金の返済による支出202百万円や配当金の支払額153百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日付当社「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、第3四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	今回予想 (2023年11月9日公表)	
	第3四半期	第4四半期
期中平均為替レート	1US\$=145円	1US\$=140円
予想燃料油価格	US\$640/MT	US\$650/MT

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,783	1,898,999
海運業未収金及び契約資産	192,665	334,935
貯蔵品	438,235	511,747
その他流動資産	343,432	127,350
流動資産合計	2,506,117	2,873,032
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	6,206,907	5,795,523
建物（純額）	182,317	177,299
器具及び備品（純額）	7,261	9,332
土地	167,400	167,400
建設仮勘定	528,896	530,711
その他有形固定資産（純額）	20,179	19,704
有形固定資産合計	7,112,963	6,699,971
無形固定資産		
	906	906
投資その他の資産		
投資有価証券	779,283	932,131
退職給付に係る資産	72,754	76,814
繰延税金資産	489,834	489,288
その他長期資産	88,450	87,009
投資その他の資産合計	1,430,322	1,585,243
固定資産合計	8,544,192	8,286,122
資産合計	11,050,309	11,159,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	468,236	465,451
1年内返済予定の長期借入金	378,210	351,424
未払法人税等	101,683	127,804
契約負債	180,891	100,664
賞与引当金	30,290	27,600
その他流動負債	92,335	100,529
流動負債合計	1,251,646	1,173,474
固定負債		
長期借入金	2,124,085	1,948,373
繰延税金負債	602,286	656,344
特別修繕引当金	221,562	264,604
退職給付に係る負債	58,643	63,194
長期末払金	38,700	38,700
資産除去債務	14,280	14,400
その他固定負債	106,655	106,675
固定負債合計	3,166,214	3,092,292
負債合計	4,417,860	4,265,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	322,052	322,052
利益剰余金	5,166,787	5,323,733
自己株式	△2,027	△2,117
株主資本合計	6,188,812	6,345,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285,867	384,154
その他の包括利益累計額合計	285,867	384,154
非支配株主持分	157,769	163,565
純資産合計	6,632,448	6,893,387
負債純資産合計	11,050,309	11,159,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
海運業収益	4,506,818	3,385,802
海運業費用	3,094,521	2,794,530
海運業利益	1,412,297	591,272
その他事業収益	54,609	43,729
その他事業費用	18,739	20,229
その他事業利益	35,870	23,500
営業総利益	1,448,167	614,772
一般管理費	282,754	270,788
営業利益	1,165,413	343,984
営業外収益		
受取利息	818	2,190
受取配当金	23,672	23,120
為替差益	95,340	78,879
その他営業外収益	1,100	12,266
営業外収益合計	120,932	116,456
営業外費用		
支払利息	20,657	13,751
支払手数料	2,000	2,000
その他営業外費用	4	2,659
営業外費用合計	22,662	18,411
経常利益	1,263,683	442,029
税金等調整前四半期純利益	1,263,683	442,029
法人税、住民税及び事業税	354,381	123,708
法人税等調整額	26,188	6,443
法人税等合計	380,570	130,151
四半期純利益	883,113	311,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,347	506
親会社株主に帰属する四半期純利益	880,765	311,371

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	883,113	311,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,235	104,687
その他の包括利益合計	△53,235	104,687
四半期包括利益	829,878	416,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	830,719	409,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△841	6,905

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,263,683	442,029
減価償却費	420,569	420,483
賞与引当金の増減額(△は減少)	227	△2,690
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,482	491
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	51,126	43,041
受取利息及び受取配当金	△24,491	△25,310
支払利息	20,657	13,751
支払手数料	2,000	2,000
為替差損益(△は益)	△115,972	△82,707
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△81,607	△142,270
棚卸資産の増減額(△は増加)	△80,684	△73,511
その他の資産の増減額(△は増加)	△179,165	212,575
仕入債務の増減額(△は減少)	118,187	△2,784
契約負債の増減額(△は減少)	116,076	△80,227
その他の負債の増減額(△は減少)	△23,744	9,147
その他	△417	119
小計	1,475,961	734,138
利息及び配当金の受取額	24,491	25,310
利息の支払額	△21,467	△13,683
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△488,359	△96,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	990,625	649,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,814	△7,492
貸付けによる支出	△4,500	—
貸付金の回収による収入	1,590	1,760
その他	△4,438	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,162	△5,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,280,452	△202,497
支払手数料	△2,000	△2,000
配当金の支払額	△95,094	△153,492
非支配株主への配当金の支払額	△883	△883
その他	—	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,378,430	△358,963
現金及び現金同等物に係る換算差額	115,972	82,707
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△284,994	367,215
現金及び現金同等物の期首残高	2,547,034	1,531,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,262,039	1,898,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	4,028,182	478,635	—	4,506,818	—	4,506,818
その他の収益	—	—	54,609	54,609	—	54,609
外部顧客への営業収益	4,028,182	478,635	54,609	4,561,427	—	4,561,427
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,028,182	478,635	54,609	4,561,427	—	4,561,427
セグメント利益	1,357,506	50,266	16,866	1,424,638	△259,225	1,165,413

(注) 1 セグメント利益の調整額△259,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	2,895,964	489,838	—	3,385,802	—	3,385,802
その他の収益	—	—	43,729	43,729	—	43,729
外部顧客への営業収益	2,895,964	489,838	43,729	3,429,532	—	3,429,532
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,895,964	489,838	43,729	3,429,532	—	3,429,532
セグメント利益	536,460	49,066	2,250	587,777	△243,792	343,984

(注) 1 セグメント利益の調整額△243,792千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。